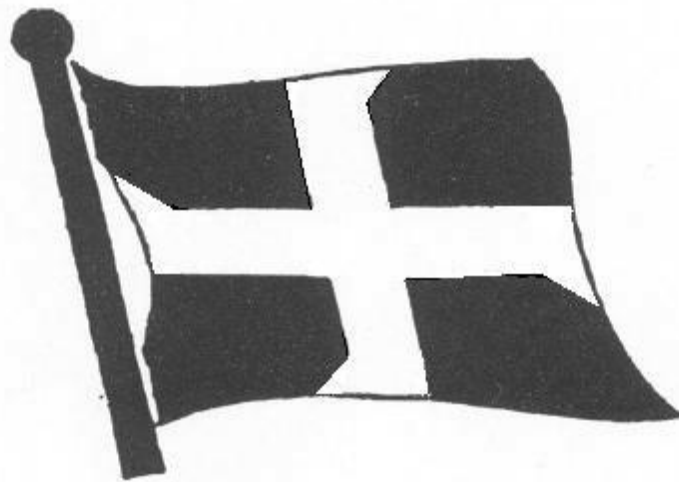


蒼穹 NEWS

NO.6

東大戦展望号

令和5(2023)年 9月 23日発行



—目次—

- ①主将挨拶・女子主将挨拶・監督挨拶
- ②東大戦展望
- ③東大戦日程

①主将挨拶・女子主将挨拶・監督挨拶

《主将挨拶》

9月30日に東京大学駒場競技場にて東大戦が開催されます。今年の京都大学は男女総合優勝を目標としています。

男女とも事前ランキングではリードしていますが、特に男子は一切の予断を許さない状況にあります。京大陸上部は、男女・学年・対校選手・OP選手・サポートを問わず、全員が自身の持てる力を出し切って、事前ランキング以上に東大を圧倒することを目指して全力を尽くします。

今シーズン、京都大学陸上部としては多くの好記録が生まれていますが、対校戦は京都インカレ以降、目標を達成できていない状況にあります。この東大戦では是が非でも目標を達成して、秋シーズン、さらには来シーズンに繋げて参る所存です。

蒼穹会の皆様には、日頃よりご支援を賜りまして誠にありがとうございます。当日も、ご多忙の中だとは思われますが、現地からも遠方からも熱い応援をどうかよろしくお願いいたします。

京都大学陸上競技部主将 齋藤 啓

《女子主将挨拶》

東大戦のチーム目標である男女総合優勝に向けて、これまで部員一同練習を重ねてまいりました。

東大戦の一週間前の関西女子駅伝に向けても、チーム全体で非常に良い雰囲気での挑み、さらに強くなるきっかけとなりました。

どの種目においても、これまで全力で練習し、考え、最善を尽くしてまいりました。前を向いて、競技や勝負を楽しみ、男女総合優勝を掴み取ります。

この1年で、部員一人ひとりがあらゆる面で強くなりました。我々の代全体としての集大成で、部員の勇姿をお楽しみください。

蒼穹会の皆様におかれましては、お忙しい中とは存じますが、会場に足を運んでいただき、変わらぬご声援のほどよろしくお願いいたします。

京都大学陸上競技部女子主将 三好 紗椰

《監督挨拶》

9月30日(土)に東大駒場グラウンドにて東大戦が開催されます。目標は男女総合優勝です。本年度、京大陸上部は数々の試合で昨年より大きく成長した姿を見せましたが、未だに関西 IC、七大戦とチーム目標を達成することはできていません。ここで何としてでも目標を達成し、チームメイトと目標達成の喜びを分かち合う経験をしたいと思っています。

男女とも勝利に向けて一つ鍵を握るのは専門外種目での選手の活躍です。両大学とも自校の得意とする種目のみで勝ち切ることができる状況にはなく、新たな力の台頭が求められています。東大戦翌日に国際大会出場に繋がる大きな大会が新潟で開催されるため、特に我々は数名主力選手を欠く戦いにはなりますが、それも踏まえた上で4年生を中心にチーム作りをしてきました。当日はチーム一丸のパフォーマンスにご期待ください。

最後に蒼穹会の皆様におかれましては、当日はぜひ現地にて熱い声援をいただきますと幸いです。

京都大学陸上競技部監督 仲村 快太

②東大戦各競技展望

第96回東京大学・京都大学対校陸上競技大会
兼 第22回東京大学・京都大学対校女子陸上競技大会
令和5年9月30日(土)

短距離

100m

石原(2)

高田(3)

山田(3)

男子 100m には高田(3)、山田(3)、石原(2)が出場する。

高田はシーズンを通して好調を維持し、対校戦でも勝負強さを発揮してきた。更なる記録の更新と、エースとして他を寄せつけない走りに期待したい。

山田は膝裏や腰に不安を抱えている状態ではあるが、出場を決めてくれた。七大戦や全カレではこれまでよりも1段階上の水準での走りを見せているので、今回もチームを引っ張るような活躍に期待したい。

石原は東大のランキング上位2名との競り合いが予想される。本人も七大戦で競り負けた新倉へのリベンジに燃えているので、ランキングを返す走りでスコンク達成を目指したい。

女子100m

齋藤(2)

三好(4)

女子 100m には三好(4)、齋藤(2)が出場する。

三好は院試等で忙しい時期もあったが、日々高い目的意識で練習に励み加速に磨きをかけている。確実に力をつけているので、チームの勢いとなるような大幅なベスト更新に

期待したい。

齋藤は練習を継続して取り組むことができ、先日は練習ベストを更新するなど練習の成果が確実に始まってきている。三好にも負けない走りでの大幅 PB 更新に期待したい。

200m

高田(3)

高橋(2)

石原(2)

男子 200m には高田(3)、石原(2)、高橋(2)が出場する。

高田はシーズンを通して持ち前の後半のノビに磨きをかけながらタイムを更新し続けている。全カレ標準突破に近い水準に来ているので、本人にとって大きな手応えを掴めるようなレースに期待したい。

高橋は翌日にグランプリがあるため、種目を絞っての出場となる。200m では安定した記録を出し続けているため、ランキングを守り抜く走りで確実な勝利を目指して欲しい。

石原は、東大の上位3人にどれだけ競り勝てるかが鍵になってくる。100m に続きタフなレースになるが、今シーズンは勝負どころで力を発揮してきているので、力強い走りに期待したい。

400m

中川雄(1)

益田(3)

岩本(3)

京大からは益田(3)、岩本(3)、中川(1)が
出場する。エントリーランキングでは、益田、岩
本、東大の松永が拮抗しており、中川と東大
の3番手とはやや距離がある状況にある。

岩本は今シーズン好調。現PBの49"25
は七大戦の過密日程の中記録したもののた
め、まだまだ記録を伸ばせる見込みはある。
松永に先着する実力は十分にあるため、関カ
レB標の48"90を見据えて、記録に拘って
臨んでもらいたい。

益田は連戦による疲弊もあり、本調子とは
言い難い。とはいえ、自分に必要なトレーニ
ングをしっかりと見定め、練習はしっかりと積
んでいる。松永に競り勝つ実力は備わっている
はずなので、今シーズンラストの対校戦、出し切
ってもらいたい。

中川は一回生ながら非常に調子を上げてき
てきている。東大3番手の奥田は資格記録
こそ49秒台とやや格上であるが、SBはあま
り奮っていないため、今の中川の実力ならば
先着する見込みは多分にある。攻めの走りに
期待する。

女子400m

中野(3)

平岡(3)

京大からは平岡(3)、中野(3)が出場する。
エントリーランキングでは、東大の多田が
59"37とやや格上、次いで中野、平岡が続
く。

平岡は400mの経験は浅いものの、5月に
行った農Gでのトライアルでは60"83と好
記録を残している。目標は優勝とのことだが、
本人の意気込みやこれまで活躍ぶりを踏まえ
ると今回も魅せてくれそうな様子が伺える。ケ

ガのためこしばらく走れていないのが懸念
点だが、持ち前の本番強さを十二分に発揮し
て勝利をつかみ取ってもらいたい。

中野は七大戦で関カレB標を突破し、その
後の試合や練習タイムも好調で、ノリに乗っ
ている選手。長らく低迷していたが、ここに来て
調子を上げてきてきている。目標は平岡同
様優勝。PBではダントツでトップであり、練
習も積めているため、見込みは十分にあるだ
ろう。さらなる飛躍に期待がかかる。

4×100mR

走順は山田(3)-高田(2)-藤浦(4)-石原
(2)の予定。この種目ではここ数年負けが続
いているので、確実にバトンを繋ぎリベンジを
果たしたい。

女子4×100mR

走順は現時点では未定。記録との勝負にな
るが、走力としては確実にチームベストを更新
できる状態にあるためバトンパスが鍵になっ
てくる。高いチーム力で、試合経験も重ねなが
ら練習を積んできたので、その成果の発揮と
共に大幅な記録更新に期待したい。

4×400mR

現時点で予定している走者は、益田(3)、岩
崎(4)、藤浦(4)、岩本(3)。目標は優勝。相手
も49秒台を持つ選手が多く控えており、資
格記録上はこちらがやや優勢ではあるもの
の、接戦が予想される。前回大会では惜しくも
優勝を逃してしまったため、あの悔しさをバネ
に今回こそ必ず優勝をつかみ取ってもらいた
い。

ハードル

110mH

五十嵐(3)

中川遥(3)

岩崎(4)

男子 110mH には岩崎(4)、五十嵐(3)、中川(3)が出場する。

岩崎はエントリータイムは 15"07 であるが、久しぶりの出場ということもあり 14 秒台を出して東大の高橋との首位争いに食い込みたい。

五十嵐は今季ハードルパートで最も勢いのある選手の一人である。練習のタイムや走りがここ数ヶ月で向上してきているので、岩崎とともに首位争いになるであろう。

中川は三段跳の選手であり大学では初出場であるが、跳躍選手ならではのハードリングの上手さが練習からも垣間見られるので、好記録が期待できるであろう。

400mH

金盛(3)

岩崎(4)

青柳(2)

男子 400mH には岩崎(4)、金盛(3)、青柳(2)が出場する。

岩崎は幹部代で臨む最後の試合であり、自身最後の 400mH ということもあり 1 位を死守したいところである。

金盛は一時期体調不良となり練習を積めていないが、自身の掲げる 53 秒台に向けて少なくとも関カレ B 標準は切っておきたい。

青柳は足の甲の怪我により長らく走練習を離脱しているが、それでもパワーマックストレーニングで毎日追い込んでおり、対校戦強さも相まって好記録に期待したい。

今年こそ 1、2、3 位独占！

中距離

800m

平山(3)

杉原(2)

阿部(1)

本種目には杉原(2)平山(3)阿部(1)が出場する。

杉原は大学ベストをさらに更新し、実力を伸ばしている。その実力を遺憾なく発揮してほしい。

平山は七大戦後に自己ベストを大きく更新している選手である。勢いそのままに上位を目指して走ってほしい。

阿部は入部からメキメキと実力を伸ばし、現在中距離で一番勢いがある選手である。ハイレベルなこの種目で先輩たちを脅かすレースに期待したい。

3人でランキング1位の東大の選手に食らいつきたい。

女子800m

服部(1)

小倉(2)

本種目には小倉(2)服部(1)が出場する。

小倉は持ち前のスピードに加え、駅伝に向けて体力もつけてきた。堅実に走り、優勝してチームに勢いをつけたい。

服部は怪我の影響で練習はできていない状況で正補交代の可能性もあるが、持っている実力は確かなものなので、走るとなれば落ち着いてレースを進めたい。

1500m

小井(3)

小笹(3)

柴折(1)

本種目には柴折(1)小井(3)小笹(3)が出場する。

小井は駅伝に向けてスタミナを磨いており、練習の成果が1500mにどう生かされるかが見どころである。

小笹は自己ベストを更新できるところまで練習は積めているので、ランキング4番の東大の選手を目標にして果敢に攻めるレースをしたい。

柴折(1)は西川(3)と正補交代で出場することになった。入部してから順調に練習は積めており、自己ベストを更新できるところまで確実に実力はついている。初めての対校戦となるが気負いすぎず、これからの糧となるレースをしたい。

ここで得点を大きく返して総合優勝に向けて勢いをつけたい。

長距離・競歩

5000m

江端(4)

三嶋(3)

稲田(2)

男子5000mには、江端(4)、三嶋(3)、稲田(2)の3名が出場する。レースは14分20秒を切る資格記録を持つ東大秋吉(2)を中心に展開することが予想され、動きが予想できない難しい中での出走となる。

江端はレースでの安定感を評価しての出走となる。勝つべき相手をきちんと見極め、学部生最後のトラックでの対校戦で、存分に持ち味を発揮してほしい。

三嶋は先日の吹田ナイター記録会で余力を残してPBに迫るタイムを出しており、今後に期待がかかる。ここで一回り成長した姿を示

したい。

稲田は積極的な走りが持ち味で、練習から上の設定に食らいつくなど積極性を見せてきた。先日の3000mでは8分台に迫るタイムで走っており、PBはいつでも狙える状態だ。この種目で去年のスコンクの雪辱を果たせるか。

3000m

濱口(1)

周藤(3)

女子3000mには、周藤(3)、濱口(1)が出場する。ともに関西女子駅伝を走った1週間後のレースとなるが、資格記録では優位に立っているため、1、2位を取って7点をもたらしたい。

周藤は七大戦の酷暑の中PBをマークしている。11分を切ってどこまで記録を伸ばせるかに注目である。

濱口は受験のブランクを徐々に戻しつつあり、練習状況も申し分ない。駅伝に向けて距離を踏んできた成果を発揮してほしい。

5000mW

土田(1)

尾原(4)

原(4)

男子5000mWには、尾原(4)、原(4)、土田(1)の3名が出場する。七大戦では3人共に東大勢に完勝しており、今回もスコンクを目指して戦う。

尾原、原は夏に走練習で実力を伸ばしてきた。スタミナは十分にあるので、どんな展開でも勝ち切る準備は万全だ。

土田は夏を通じて質の高い練習を維持してきた。大幅な自己ベストも期待される。暑さの

和らぐ時期なので七大戦よりもさらにタイムを伸ばし、実力差を見せつけて勝ちにいきたい。

投擲

砲丸投

島村(4)

中川遥(3)

大住(3)

男子砲丸投には島村、中川遥、大住が出場する。

島村においては東大の3番手に勝てるかが勝負である。4回生の意地を見せてほしい。

中川は初の砲丸投の試合となる。島村同様東大の3番手に勝ちたい。

大住においては野生のパワーを生かし9m投げて3位を死守したいところだ。

女子砲丸投

平松(2)

新保(3)

女子砲丸投には新保、平松が出場する。

新保においては優勝はほぼ確実であり記録との戦いになる。目標の10mを投げてきてほしい。

平松はコツコツ練習していて日に日に上達している。2位を目指して楽しく投げてきてほしい。

円盤投

杉本(2)

五十嵐(3)

岡本(3)

男子円盤投には岡本、五十嵐、杉本が出場する。

岡本においてはPBを更新し優勝したい。良いイメージを再現できるかが鍵となる。

五十嵐の目標は3位。練習時間はあまり取れていないが投げる準備はバッチリできている。

杉本はまだ始めたばかりではあるが楽しく投げてランキングを一つでも返してほしい。

ハンマー投

川瀬(2)

木之下(4)

岡本(3)

男子ハンマー投には川瀬、木之下、岡本が出場する。

木之下においては目標の30m投げて岡本と2位争いしてほしい。4回生の意地の投げに期待したい。

岡本においては30m投げてランキングを守ってほしい。1本に期待したい。

川瀬は初の対校戦となるが思い切り投げて楽しんでほしい。

やり投

島村(4)

大住(3)

木下(1)

男子やり投には島村、大住、木下が出場する。

島村は課題であった助走が良くなっている。ランキングを大きく返してほしい。

大住においては45m投げて優勝争いに加わってほしい。最近の投げはいい感じである。

木下は優勝目指して思い切り投げてきてほしい。50m超えに期待している。

跳躍

走高跳

田中(2)

齋藤(4)

鴛原(4)

男子走高跳には四回生鴛原, 四回生齋藤, 二回生田中が出場する。

ただし直前の状況判断で齋藤と吉富の正補交代の可能性はある。

鴛原については院試休み明けに加えて体調不良の影響で少し復調が遅れた。しかしこれまでのキャリアで培った実力は本物であるので学部生最後の対校選手として勝負に勝ち、観客を魅せてほしい。

齋藤については同志社戦以降走り高跳びの技術を向上させる練習をしてきており、その歩みはたとえ遅くとも確実なものであった。実力差は大きいが一矢むくいるような跳躍をして欲しい。

田中については夏休みに入った後も自分の技術向上のために直向きに練習に取り組んできた。ここで関西インカレ A 標準となる 2m 超える跳躍をして後半シーズンと来年への布石としてほしい。

棒高跳

吉富(2)

深井(3)

中川遥(3)

男子棒高跳には三回生中川, 三回生深井, 二回生吉富が出場する。

中川は東大戦優勝に向けて棒高跳のエントリーを決意してくれた。自分の専門種目の練習やハードルの練習, そして次期主将としての仕事がある中でも時間を捻出し棒高跳の技術を向上させてきた。たとえ本番で大きな記録を狙うことは難しくてもランキングを返すことは全く不可能でないので堂々と試合をしてきてほしい。

三回生深井は就活に少し時間を取られながらも時間を見つけ、体力・技術向上に向けて練習を積み重ねてきた。実力を遺憾無く発揮し、悲願である関西インカレ B 標準を突破してほしい。

吉富は六月の PB 更新から確たる実力を身につけ続けている。大会二週間前に練習中に膝を怪我するというアクシデントがあったが、その中でも勝つ実力は確実に持っている。焦らず臆さず試技に向かってほしい。

走幅跳

齋藤(4)

梶(4)

松本(3)

男子走幅跳には四回生梶, 四回生齋藤, 三回生松本が出場する。

梶については院試休みにより怪我が少し治ったので、万全とは言わずとも実力を発揮する準備はできている。七大戦の失態を繰り返さないように気をつけたい。

齋藤については走高跳後の試合となるため少し疲労が残った状態で試技に臨むことになるが、確たる実力を持っているのは明白である。ランキング一位として勇姿を見せて欲しい。

松本については最近になりかなりスピードの水準も上がってきた。昨年の怪我や六月の肉離れと、うまくいかないことも多かったと思われるがそれでも記録を伸ばして今回の対校戦手の枠を掴み取った。本番では関西インカレ B 標準を跳び会場を大いに沸かせてほしい。

女子走幅跳

齋藤(2)

新保(3)

女子走幅跳には三回生新保, 二回生齋藤虹香が出場する。

新保については東大戦に向けて走幅跳の技術を向上させてきた。専門種目である七種においても走幅跳は重要な位置にあるため、ここでPBを更新するようなジャンプをし、七種に向けても弾みをつけてほしい。

齋藤については短距離パートから出場を決めてくれた。トライアルで好記録を出しており戦える実力は十分にある。慣れない種目で少し不安もあるかもしれないが緊張する必要は全くない。堂々と本番に望み楽しんでほしい。

三段跳

松井(2)

齋藤(4)

梶(4)

男子三段跳には四回生梶, 四回生齋藤, 二回生松井が出場する。梶は最低限優勝を取りチームに勢いをもたらせたい。

齋藤については三種目となり容易い試合ではないと思われる。しかしランキングを見れば勝つ実力を持っていることは疑いようがない。主将として最後の試合の最後の種目、意地を見せて会場を沸かせてほしい。

松井については同志社戦でのUB更新と優勝に表れている通り、実力を着実に上げてきている。当日に関西インカレA標準を突破する実力も持ち合わせているはずなので堂々と、会場を大いに盛り上げるようなパフォーマンスをしてほしい。

③東大戦日程

トラック種目

開始時刻	種目	出場選手(対校の部のみ)
10:00	男子400mH	岩崎(4)、金盛(3)、青柳(2)
10:10	男子100m	高田(3)、山田(3)、石原(2)
	男子100mOP	
10:35	女子100m	三好(4)、齋藤(2)
	女子100mOP	
10:50	男子1500m	小井(3)、小笹(3)、柴折(1)
	男子1500mOP	
11:15	女子1500mOP	
11:30	男女5000mW	尾原(4)、原(4)、土田(1)
12:15	男子400m	
12:40	女子800m	小倉(2)、服部(1)
	女子800mOP	
13:00	男子4×100mR	山田(3)―高田(3)―藤浦(4)―石原(2)
13:15	男子5000mOP	
13:55	女子400m	平岡(3)、中野(3)
14:05	男子800m	平山(3)、杉原(2)、阿部(1)
	男子800mOP	
14:30	男子200m	高田(3)、石原(2)、高橋(2)
	男子200mOP	
15:00	女子3000m	周藤(3)、濱口(1)
15:20	男子110mH	岩崎(4)、五十嵐(3)、中川(3)
15:40	男子5000m	江端(4)、三嶋(3)、稲田(2)
16:05	女子4×100mR	
16:20	男子4×400mR	

フィールド種目

開始時刻	種目	出場選手(対校の部のみ)
10:00	男子走高跳	鴛原(4)、齋藤(4)、田中(2)
10:30	男子円盤投	岡本(3)、五十嵐(3)、松本(2)
11:30	男女走幅跳	梶(4)、齋藤(4)、松本(3)/新保(3)、齋藤虹(2)
	男女走幅跳 OP	

12:10	男子ハンマー投	木之下(4)、岡本(3)、川瀬(2)
12:45	男子棒高跳	中川(3)、深井(3)、吉富(2)
13:45	男女砲丸投	島村(4)、大住(3)、中川(3)/新保(3)、平松(2)
14:55	男子三段跳	梶(4)、齋藤(4)、松井(2)
15:20	男子やり投	島村(4)、大住(3)、木下(1)
	男女やり投 OP	



蒼穹ニュース 令和5年度 第6号
令和 5年 9月 22日発行

発行所:京都大学体育会陸上競技部
編集者:白星祥吾・田中颯真・平松藍(副務)
特別協力:高山兼輔・平林里和子・阿部陽葵(学連員)

陸上競技部 HP <http://www.athletics.kusu.kyoto-u.ac.jp/>
陸上競技部記録 HP <http://www.athletics.kusu.kyoto-u.ac.jp/kiroku.htm>
関西学連 HP <http://gold.jaic.org/jaic/icaak/index.htm>
メールアドレス shirahoshi.shougo.56f@st.kyoto-u.ac.jp(白星)